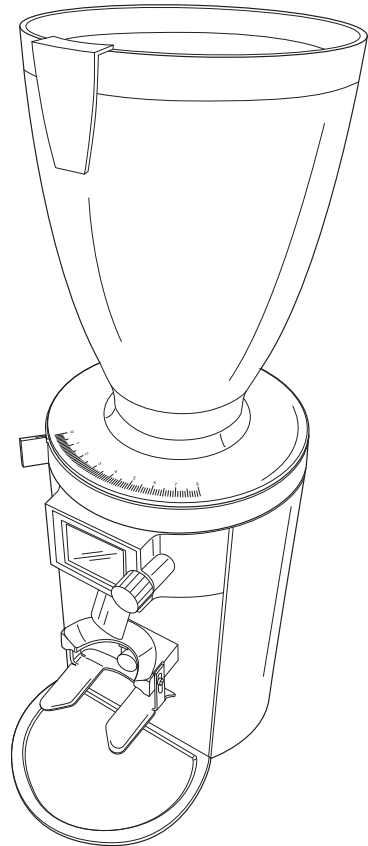


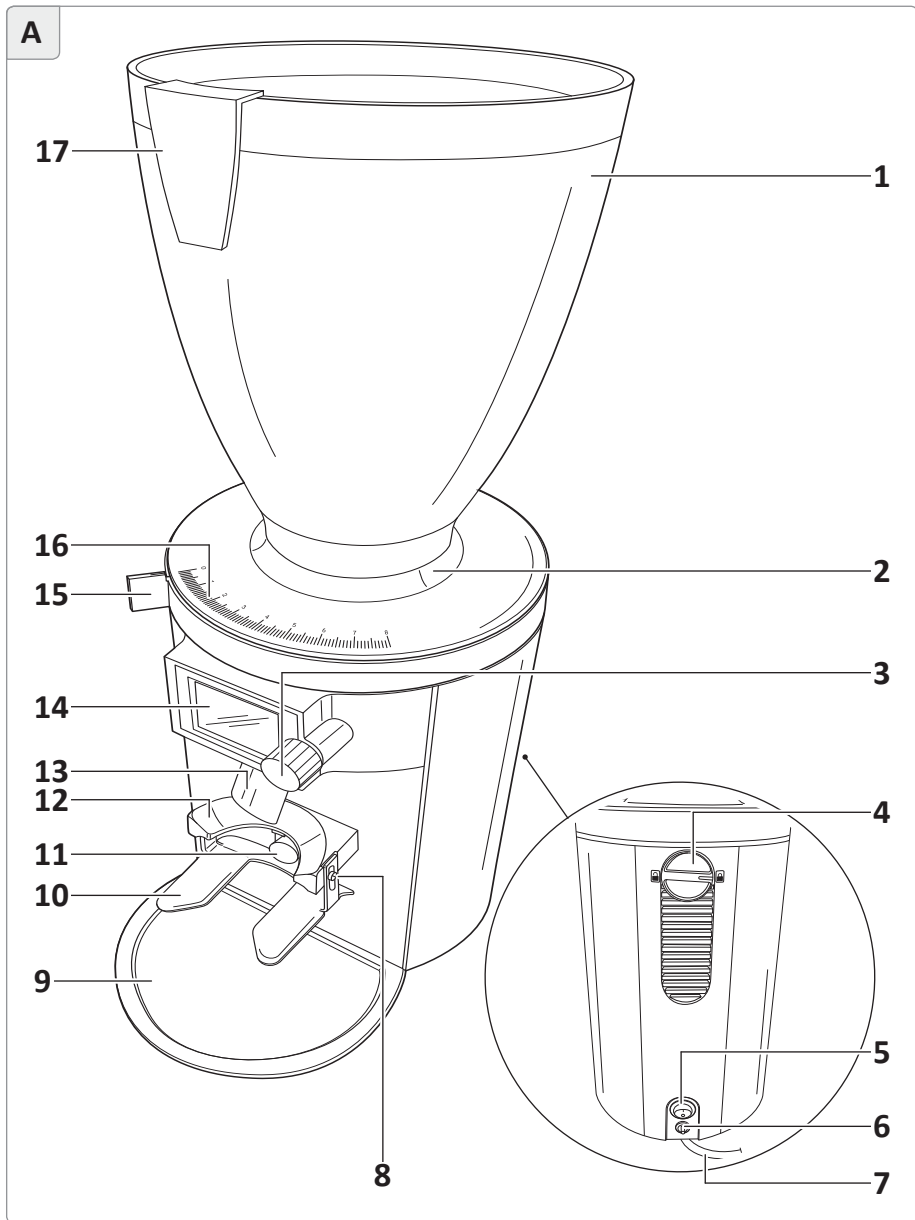
正規取扱説明書

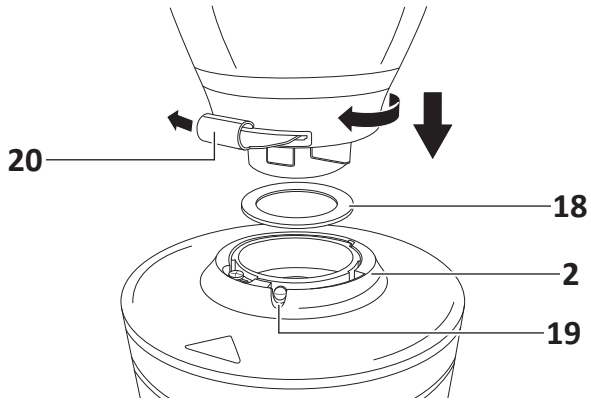
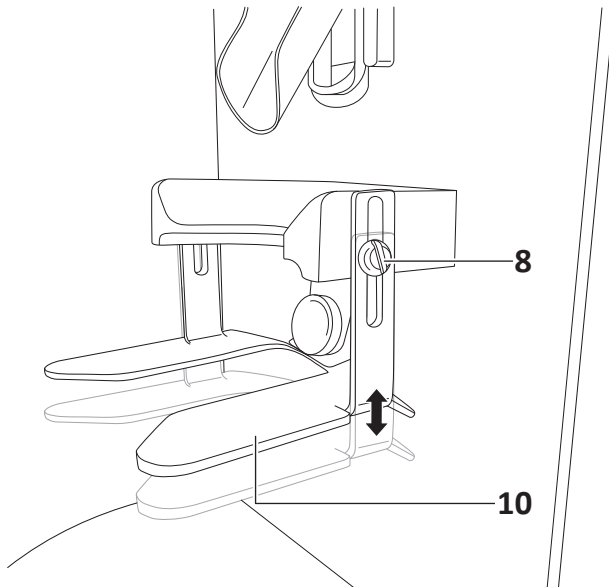
**ditting**

シングルエスプレッソ  
グラインダーE65S

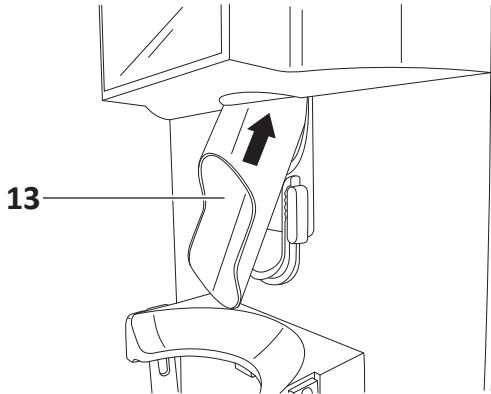


# 概要

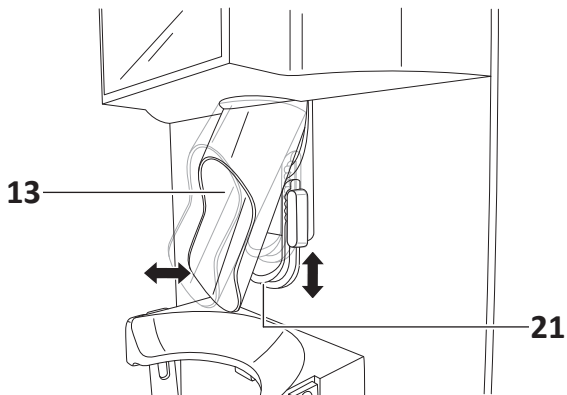


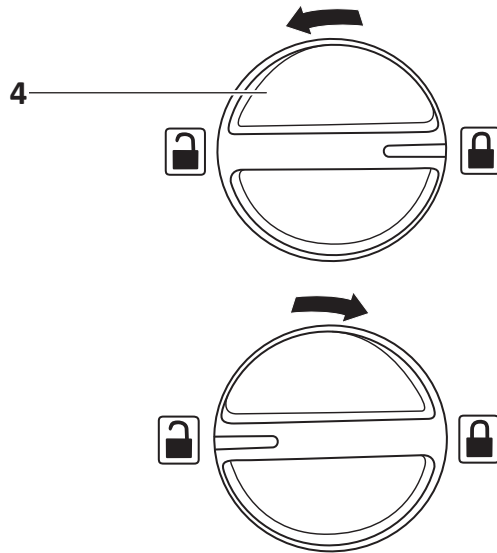
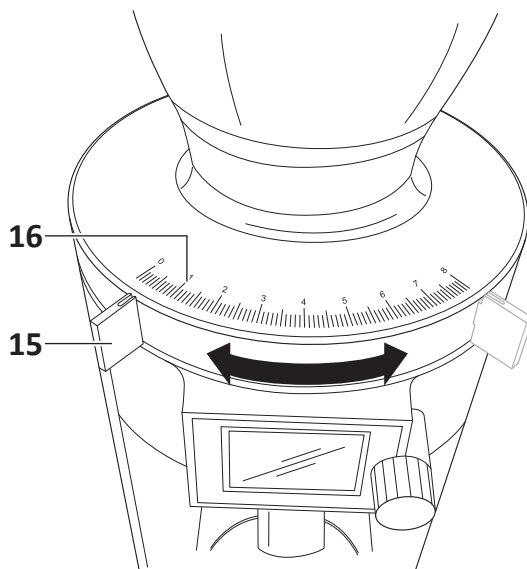
**B****C**

D

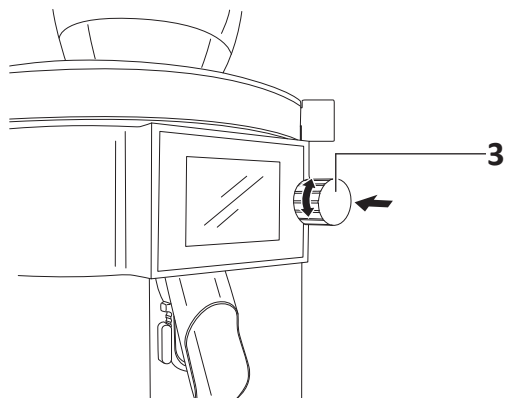


E

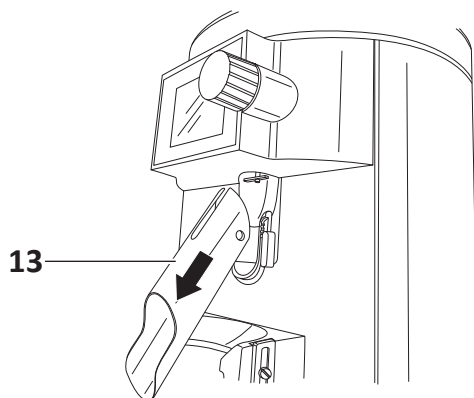


**F****G**

H



I



## 納品内容

### 番号 名称

- 1 豆ホッパー (ふた付き)
- 2 豆ホッパー受け
- 3 調整ダイヤル
- 4 グラインド調整ロック
- 5 電源スイッチ
- 6 解除ボタン (過電流保護用温度ヒューズ)
- 7 電気ケーブル
- 8 フィルターホルダーサポート用調整ねじ (左右)、2×
- 9 ドリップトレイ
- 10 フィルターホルダーサポート
- 11 スタートボタン
- 12 フィルターホルダー受け
- 13 挽き口
- 14 ディスプレイ
- 15 グラインド調整レバー
- 16 挽き具合目盛り
- 17 コーヒー豆の種類表示クリップ
- 18 ゴムリング
- 19 豆ホッパー用固定ネジ
- 20 スライド式つまみ
- 21 挽き口用リード

## E65S

### 目次

概要.....	2	エスプレッソ豆を挽く - レシピに応じたグラインド.....	20
納品内容.....	7	エスプレッソ豆を挽く - 手動グラインド.....	20
一般事項.....	9	豆挽きを中断する (中断機能).....	20
取扱説明書の熟読 および保管について .....	9	エスプレッソ豆の種類を変える	21
使用記号の説明 .....	9	メインメニューの使い方... ..	22
安全について .....	11	ディスプレイ/指示記号.....	22
正しい使い方.....	11	メインメニューを呼び出し 操作する .....	23
安全に関する注意事項.....	11	清掃.....	24
使用開始前に.....	14	グラインダー底面を清掃する....	25
動作原理 および基本設定 .....	14	筐体を清掃する .....	25
グラインダーと納品内容を 確認する .....	14	挽き口装置を清掃する .....	25
グラインダーを設置し、 豆ホッパーを取り付ける .....	15	豆ホッパーを清掃する.....	26
フィルターホルダーサポートと 挽き口を調整する.....	16	グラインダーを清掃する .....	27
運転.....	17	不具合の是正.....	28
エスプレッソ豆を充填する .....	18	仕様情報.....	31
グラインダーの電源を入れる....	18	廃棄.....	32
挽き具合を調整する .....	18	梱包を廃棄する .....	32
レシピ/豆挽き時間を 選択する .....	19	グラインダーを廃棄する .....	32
レシピ/豆挽き時間を 調整または変更する .....	19	メンテナンスとサービス ...	33
		CE 適合宣言 .....	34
		メモ.....	35



## 一般事項

### 取扱説明書の熟読および保管について



シングルエスプレッソグラインダーE65Sをお使いになる前に、先ず本正規取扱説明書をご一読いただき、安全に関する注意事項について認識してください。そうすることでシングルエスプレッソグラインダーを安全に始動させ、危険なくご使用になることができます。正規取扱説明書は欧州規格および法令に基づき作成しております。ご使用になる国の規格・法令にも注意してください。

ご理解しやすいように、シングルエスプレッソグラインダーE65Sは以下「グラインダー」と称します。

ご不明な点がある場合に備えて、本正規取扱説明書はお手元に保管してください。

本正規取扱説明書は、今後所有またはご使用になる方にもお渡しください。

### 使用記号の説明

次の記号およびシグナルワードは、本取扱説明書、グラインダーまたは梱包上にも使用されることがあります。

#### 警告



本シグナルワードならびに記号は、中レベルの危険を意味しており、防止できなければ死亡または重傷につながる恐れがあります。

#### 注意



本シグナルワードならびに記号は、低レベルの危険を意味しており、防止できなければ軽傷または中程度の怪我につながる恐れがあります。

### 参考

本シグナルワードは物品破損の可能性について注意しています。



本記号はグラインダーの運転または取扱いに関して有用な情報を伝えています。



CE 適合宣言 (「CE 適合宣言」の章を参照):  
本記号が記載されている製品は、欧州経済地域の適用される指令・規則すべてに適合していることを意味します。



Intertek

認証マーク ETL 記載:  
本記号が記載されている製品は、製品の電気安全に関するアメリカ合衆国の要件を満たしています。



Intertek

本記号が記載されている製品は、食品衛生に関するNSF (National Sanitation Foundation: 国立公衆衛生財団) の要求する基準に従っています。



本記号が記載されている製品は、屋内でのみの使用が許可されています。



本記号は感電の危険があることを意味しています。



本記号は、グラインダーが保護等級 I に対応していることを意味します。

# 安全について

## 正しい使い方

グラインダーは、しっかり焙煎されたエスプレッソ豆を挽くためにのみ使用します。グラインダーをその他の製品や物体を挽くために使用しないでください。グラインダーは業務用に指定されており、研修を受けた人のみメンテナンスすることが許されますが、使用を監督する人がいる場所では他の人が操作することもできます。

それ以外のあらゆる使用については、使用用途にはあたらないものとみなされ、物品の破損や人体の怪我につながる恐れがあります。グラインダーの仕様を変更しないでください。安全に関する注意を怠ったために発生する怪我や損傷については、製造業者または取扱業者は一切の責任を負いません。

## 安全に関する注意事項

### 警告

#### 感電の恐れがあります！

使用方法を誤った取扱い、間違った電気系統取付、過度の電圧は、感電の恐れがあります。

- コンセントの電圧が機銘板に記載の情報と一致している場合にのみ、グラインダーの電源を差し込むようにしてください。
- 事故発生時には電源からすぐに離せるように、手の届きやすいコンセントにのみつなげるようにしてください。
- 目に見える損傷や電源ケーブルまたはプラグに不具合が認められる場合はグラインダーを使わないでください。
- グラインダーの電源ケーブルが損傷している場合は、危険を避けるため製造業者または専門家による交換を行ってください。
- 16A低ヒューズに対応する供給電圧でのみ、グラインダーの電源を入れてください。16A低ヒューズは資格を有する電気技師が取り付けを行ってください。そうでない場合、グラインダーを取り付けた電源接続部は安全が保証されません。
- グラインダーは、使用について研修を受けた人が監督する環境で、取り付け作業を行ってください。
- グラインダーは、標高2000m以上の場所で使用しないでください。

- グラインダーや電源ケーブル、電源プラグは水などの液体の中に浸けないでください。
- グラインダーをウォータージェットで洗わないでください。
- 圧力を使ってグラインダーを洗わないでください  
(例:エアブロー)。
- 電源プラグは決して濡れた手で触れないようにしてください。
- 電源プラグを引き抜くときは、ケーブルではなくプラグ部分を持って引き抜いてください。
- 電源ケーブル部分を持ち運びの際に持ち手としてつかまわないでください。
- グラインダー、電源ケーブル、電源プラグを火や熱から遠ざけてください。
- 電源ケーブルは足などが引っかからないよう配置してください。
- 電源ケーブルを曲げたり、角の鋭利な箇所にひっかけたりしないでください。
- グラインダーは屋内でのみ使用してください。グラインダーを湿度の多い部屋や雨の中で使用しないでください。
- グラインダーはお子さまが触れることのない場所に置いてください。
- お子さまがグラインダーに物を入れないよう、ご注意ください。
- グラインダーを使用しない場合、清掃時、不具合が起きている場合には、グラインダーの電源を切り、電源プラグをコンセントから引き抜いてください。
- 筐体はご自身で開けず、修理は専門の業者に任せるようにしてください。それについては、専門の修理工場にお問い合わせください。ご自身で修理を行った場合、誤った接続・運転を行った場合、損害賠償請求や保証は一切無効になります。修理の際は、元来の機器の仕様に対応する部品のみ使用してください。本グラインダーには、危険防止に不可欠な電気・機械部品があります。

---

**⚠ 警告**

お子さまや身体の不自由な方、知覚の鈍い方、知的能力の弱い方(身体の一部が不自由な方、心身的能力に制限のある年配の方など)、経験や知識が不足している方(青少年の方など)には危険の恐れがあります。

- 本グラインダーは、8歳以上のお子さまや身体の不自由な方、知覚の鈍い方、知的能力の弱い方、経験や知識が不足している方でも、監督がついている場合、またはグラインダーの安全な使用について研修を受けており、発生する危険について理解している場合はご使用いただけます。お子さまにグラインダーで遊ばせないでください。清掃やメンテナンスを、保護者の目が行き届かない場所でお子さまにさせないでください。
- グラインダーの運転中は、目を離さないでください。
- お子さまに梱包用フィルムで遊ばせないでください。お子さまがこうした物で遊ぶと身体が絡まり、窒息の恐れがあります。
- お子さまに小さい部品で遊ばせないでください。飲み込むと、生命に危険を及ぼす場合があります。

---

**⚠ 注意**

**転倒、怪我の恐れがあります!**

グラインダーの取り扱いを誤ると怪我を負う恐れがあります。

- 人が電気ケーブルに足をひっかけ、はずみでグラインダーが落ちないように配置してください。
- グラインダーは平らで安定した場所に設置し、倒れないようにしてください。

## 使用開始前に

### 動作原理および基本設定

ショットサイズ、つまり一回の引き出し当たりのグラインド量はグラインダー E65Sでは豆挽き時間で指定できます。

ユーザーは最大6種類のレシピ(豆挽き時間)を設定でき、さらに豆挽き時間を手動で制御することができます(手動グラインド)。

豆挽き行程はフィルターホルダーを設置する時に自動で開始し、指定のグラインド時間経過後自動でもしくはフィルターホルダーを取りはずす際に(手動グラインド)手動で終了します。



出荷時の設定は、2レシピ/ショットおよび手動グラインドの状態になっています。



シングルショット:2秒(約8g\*)



ダブルショット:4秒(16g\*)



手動グラインドは、フィルターホルダー受けからフィルターホルダーを取りはずす際に自動で終了します。

\*豆の量は、選んだエスプレッソの豆の種類、挽き具合および周波数によって異なります(「仕様情報」の章を参照)。

### グラインダーと納品内容を確認する

#### 参考

#### 破損の恐れがあります!

梱包を鋭利な刃物等で不用意に開けると、グラインダーが破損する恐れがあります。

- 梱包を開ける際はよく気を付けてください。

1. グラインダーを梱包から取り出してください。
2. 納品内容がすべて揃っているか確認してください(図A、図Bおよび図Eを参照)。
3. グラインダーまたは各部品に破損があるかを確認してください。破損がみられる場合、グラインダーを使用しないでください。取扱業者にご相談ください(「メンテナンスとサービス」の章を参照)。

## グラインダーを設置し、豆ホッパーを取り付ける



豆ホッパーを固定するにはマイナスドライバーが必要です (納品内容には含まれていません)。

1. グラインダーを平らで安定している、振動のない場所に設置してください。
2. 挽き口 **(13)** が一番上にスライドされ、停止位置にしっかりと止まっていることを確認してください (図Dを参照)。
3. グラインダーの電源スイッチがオフになっていることを確認してから (電源スイッチ **(5)** を「0」の位置に切り替える)、グラインダーを電源プラグを適切に取り付けられたコンセントに差し込んでください。
4. ドリップトレイ **(9)** を挽き口の下にある筐体の空間に差し込んでください。
5. ゴムリング **(18)** が豆ホッパー受け **(2)** に正しく取り付けられ、平らになっているかを確認してください (図Bを参照)。
6. 豆ホッパー **(1)** を豆ホッパー受けに配置します。  
豆ホッパーを配置する際には、豆ホッパー前部を豆ホッパー受けの所定のくぼみにしっかりと設置するように注意してください。
7. 豆ホッパーを豆ホッパー受けに軽く押して、時計回りに回転させ、グラインダーに固定します。  
豆ホッパーを回転させても固定しない時は、豆ホッパーが正しく据えられていないことが考えられます。このケースでは、豆ホッパーを正しく合わせて (手順6を参照)、その後改めて回転させて固定してください (「不具合の是正」の章を参照)。
8. マイナスドライバーを使用して豆ホッパー用固定ネジ **(19)** を時計回りに回してしっかりと締め付けます。



グラインダーは、豆ホッパーがはまっていないと、自動的に電源が切れます。

## フィルターホルダーサポートと挽き口を調整する



フィルターホルダーサポートを調節するにはマイナスイドライバーが必要です(納品内容には含まれていません)。

エスプレッソグラインダーのフィルターホルダーサイズに合うフィルターホルダーサポート **(10)** を取り付けます (図C参照)。

1. グラインダーの電源が切れていることを確かめます(電源スイッチ **(5)** を「0」の位置に切り替える)。
2. マイナスイドライバーを使用して、フィルターホルダーサポート(左右)の固定ネジ **(8)** を反時計回りに回転させて外します。  
フィルターホルダーサポートが止まるまで下に降ろします。
3. フィルターホルダーをフィルターホルダー受け **(12)** に取り付けてください。
4. フィルターホルダーサポートを上がる限り上にずらして、フィルターホルダーがサポートと受けの間にくるよう調節します。



同梱のフィルターホルダーサポートが合わない場合は、取扱業者にご相談ください(「メンテナンスとサービス」の章を参照)。

5. フィルターホルダーサポートを所定の位置に配置し、固定用のネジ(左右)をマイナスイドライバーを使用して時計回りに回転させしっかり固定します。
6. 挽き口のリード **(21)** をストッパーのところで上下にスライドさせ、挽き口 **(13)** をフィルターホルダーにとって最適な場所に調節します (図Eを参照)。  
挽いた豆が挽き口からフィルターホルダーの真ん中に落ちるように挽き口を調節します。



挽き口は、豆挽き具合の調整後とエスプレッソ豆の種類を変更するたびに、毎回新たに調節してください。



# 運転

## 参考

### オーバーヒートする危険があります!

最大許容運転サイクルを超えると、グラインダーがオーバーヒートする可能性があります。

- 最大許容運転サイクルを超えないようにしてください（「仕様情報」の章を参照）。
- 最大許容運転サイクルに達した場合、推奨される休止時間を取ってください（「仕様情報」の章を参照）。



- グラインダーには過電流保護用温度ヒューズがあり、過電流が起きた時にグラインダーの電気回路を遮断します。グラインダーを再度運転できる状態に戻すには、まず電源スイッチ **(5)** を0 (オフ) の位置に合わせます。次に、解除ボタン **(6)** を押します。その後、電源スイッチを1 に入れ、グラインダーの電源を再びオンにすることで、グラインダーを運転できる状態に戻します（「不具合の是正」の章を参照）。
- さらに、グラインダーにはモータープロテクターがあり、モーターが過度に熱くなった場合はグラインダーの電源が切れる仕様になっています。モーターが冷え次第、グラインダーの運転を再開できるようになります（「不具合の是正」の章を参照）。

## 参考

### 破損の恐れがあります!

使用者が過電流保護用温度ヒューズに触れることはありません。保護用温度ヒューズが繰り返し作動する場合は、指定のサービス担当者にご相談ください。モーターコイルが破損している可能性があります。

## エスプレッソ豆を充填する

1. 豆ホッパー **(1)** のふたを開けてください。
2. 十分に焙煎したエスプレッソ豆を豆ホッパーの上部から投入してください。



- 最大投入量は、豆ホッパーの縁から約1cm下です。
- 投入量が安定するよう、最小投入量が約2cmを下回らないようにしてください。

3. 豆ホッパーにふたします。
4. 必要に応じ、スライド式つまみ **(20)** をスライドして豆ホッパーを開けます **(図B参照)**。



クリップ **(17)** を使用して、現在使っているエスプレッソ豆の種類を表示するために豆ホッパーのふたにラベルなどを留めることができます。


## グラインダーの電源を入れる

1. 電源プラグが適切に取り付けられた接地コンセントに差し込まれていることを確認します。
2. 電源スイッチ **(5)** を「I」の位置に切り替えてグラインダーの電源を入れます。  
ディスプレイ **(14)** に最後に選択したレシピや手動グラインドの記号が表示されたら、グラインダーの使用準備完了です。


## 挽き具合を調整する



- 挽き具合調整ロックが、グラインド調整レバー **(15)** を止めることで、意図しない挽き具合の調整を防ぎます。
- 挽き具合調整ロック **(4)** が開いていると、グラインド調整レバーが一気に挽き具合目盛り **(16)** に沿ってスライドします。挽き具合は「0」に近いほど細かく、「8」に近いほど粗くなります。

1. 場合によっては、挽き具合調整ロック **(4)** を反時計回りに  (開く) の位置まで回転させ、ロックを解除してください **(図Fを参照)**。
2. 挽き具合調整レバー **(15)** を希望の位置に動かして、レバーの溝で、希望の挽き具合を目盛り **(16)** で示してください **(図Gを参照)**。



- 細かい挽き具合に下げるのは、グラインダーが運転状態のときにしてください。
  - 挽き具合を設定するときに不均衡を避ける/取り除くために、まず粗めの設定 (例えば、希望の挽き具合の一段/一単位上) から、その後グランド調整レバーをそこから希望の挽き具合まで細かめに落としていくことをお勧めします。
3. 場合によっては、挽き具合調整ロックを時計回りに  (閉じる) の位置まで回転させ、ロックを固定してください (**図F**を参照)。

## レシピ/豆挽き時間を選択する

- 調整ダイヤル **(3)** を回転させて、希望のレシピ/豆挽き時間を選択してください (**図H**を参照)。  
ディスプレイ **(14)** には、選択したレシピの記号、その豆挽き時間およびレシピ番号が白く強調して表示されます。

## レシピ/豆挽き時間を調整または変更する

新しいレシピの豆挽き時間を変更したい、または既存のレシピの豆挽き時間を変更したい場合は、以下に記載されている通り操作を行ってください。

1. 調整ボタン **(3)** を回転させることで、希望したレシピを選択してください(「レシピ/豆挽き時間を選択する」の章を参照)。
2. 調整ダイヤルを押したままにしてください (**図H**を参照)。  
設定された豆挽き時間が光ります。
3. 調整ダイヤルを回転させ、希望の豆挽き時間を設定してください。
4. 調整ダイヤルを短く一度押すことで、設定した豆挽き時間を確定してください。



5秒以上設定を行わないと (調整ボタンを回転/押す)、始めた豆挽き時間の設定/変更は中断されます。

## エスプレッソ豆を挽く - レシピに応じたグランド

1. 調整ボタン **(3)** を回転させることで、希望したレシピを選択してください(「レシピ/豆挽き時間を選択する」の章を参照)。
2. スタートボタン **(11)** に当たるまで、フィルターホルダー受け **(12)** とフィルターホルダーサポート **(10)** の間でフィルターホルダーをスライドします。グラインダーは、設定した豆挽き時間で豆挽き工程を自動的に開始し、その後停止します。豆挽き時、残りの豆挽き時間がディスプレイ **(14)** に表示されます。
3. 豆挽き工程が終了したら、フィルターホルダーをフィルターホルダー受けから取り除きます。

## エスプレッソ豆を挽く - 手動グランド

1. スタートボタン **(11)** に当たるまで、フィルターホルダー受け **(12)** とフィルターホルダーサポート **(10)** の間でフィルターホルダーをスライドします。スタートボタンを押すと、グラインダーは自動的に豆挽き工程を開始します。豆挽き工程中、ディスプレイには残りの豆挽き時間が表示されます。
2. 豆挽き工程を終える場合は、フィルターホルダーをフィルターホルダー受けから取り外してください。

## 豆挽きを中断する (中断機能)

中断機能は、フィルターホルダーをフィルターホルダー受け **(12)** から引くと自動的に豆挽きを中断し、フィルターホルダーをフィルターホルダー受けに戻してスタートボタン **(11)** を押すと豆挽きを続けます。

1. 豆挽きを中断して豆挽き時間を停めるには、豆挽き中にフィルターホルダーをフィルターホルダー受けから引いてください。選択したレシピの記号が光ります。
2. 設定した中断時間が経過する前にフィルターホルダー受けとフィルターホルダーサポート **(10)** の間で、フィルターホルダーを再びスライドさせてください。

中断された豆挽き工程が自動的に再開し、豆挽き時間が終了するまで続けられます。



- 豆挽き工程を続けたくない場合は、調整ダイヤル **(3)** を一度短く押してください。表示が選択されたモードに直接切り替わり、その前に保留となっていた豆挽きの時間が消えます。
- 中断時間の長さは、メニュー上で設定できます。






## エスプレッソ豆の種類を変える





1. 豆ホッパー **(1)** を閉じて、スライド式つまみ **(20)** をスライドします。
2. グライNDERが空になるまで、残っているエスプレッソ豆をグライNDERで挽いてください。
3. マイナスドライバーを使用して豆ホッパー用固定ネジ **(19)** を外します。
4. 豆ホッパーを反時計回りに回転させ、グライNDERとの取付部を緩め、上に引き上げて取り外します。
5. 豆ホッパーに残るエスプレッソ豆を取り除きます。
6. 場合によっては、余剰の豆を豆ホッパー受け **(2)** から取り除いてください (**図B**を参照)。
7. ゴムリング **(18)** が豆ホッパー受けに正しく取り付けられ、平らになっているかを確認してください。
8. 豆ホッパーを豆ホッパー受けに配置します。  
豆ホッパーを配置する際には、豆ホッパー前部を豆ホッパー受けの所定のくぼみにしっかりと設置するように注意してください。
9. 豆ホッパーを豆ホッパー受けに軽く押して、時計回りに回転させ、グライNDERに固定します。  
豆ホッパーを回転させても固定しない時は、豆ホッパーが正しく据えられていないことが考えられます。このケースでは、豆ホッパーを正しく合わせて(手順8を参照)、その後改めて回転させて固定してください(「不具合の是正」の章を参照)。
10. マイナスドライバーを使用して豆ホッパー用固定ネジを時計回りに回してしっかり締め付けます。
11. 新しいエスプレッソ豆を豆ホッパーに投入してください。
12. スライド式つまみを引き出して豆ホッパーを開けます。
13. 古いエスプレッソ豆の残りを取り除いて新規に豆挽きし、豆の量が安定するよう、2〜3ショット分豆を挽いてください。

## メインメニューの使い方



メインメニューで機器データを呼び出し、指定の設定を行うことができます。

### ディスプレイ/指示記号

記号	意味
	メインメニューの「サービス・ログ」アイテム
	メインメニューの「レシピ」アイテム
	メインメニューの「設定」アイテム
	メインメニュー/サブメニューを離れる
	サブメニュー・統計の「カウンタを「0」に戻す」を選択

レシピ 記号	名称
	底なしフィルターホルダー
	シングル・フィルターホルダー (シングルショット)
	ダブル・フィルターホルダー (ダブルショット)
	手動グラインド

## メインメニューを呼び出し操作する

1. ディスプレイ (14) のメインメニューを呼び出すために、調整ダイヤル (3) を短く二度押してください。
2. 希望のアイテムを選択するために、調整ダイヤルを回転させてください (「ディスプレイ/指示記号」の章を参照)。選択したアイテムの記号が、ディスプレイの中央に表示され色が浮かび上がります。
3. 希望したサブメニューに進む、あるいはメインメニューを離れるために、調整ダイヤルを短く一度押して選択を確定してください (記号 )。
4. 場合によっては、サブアイテムまたは記号  (サブメニューを離れるため) を押すために調整ダイヤルを回転させてください。その後、調整ダイヤルを短く一度押して、選択を確定してください。



メインメニューもしくはサブメニューで10秒以上何も選択しないもしくは確定しないと、自動的に設定モードのスタート画面に戻ります。  
選択して確定しなかった入力は保存されません。

## 清掃

### ⚠注意

#### 怪我の恐れがあります!

グラインダーの設置場所を替える際にグラインダーが倒れ、怪我を引き起こす恐れがあります。

- グラインダーは常に、転倒の危険のない安定した場所に配置してください。
- グラインダーが重すぎる場合、必要に応じて他の人に手伝ってもらってください。

### 参考

#### ショートがあります!

グラインダーに水がかかると、ショートが起きる恐れがあります。

- グラインダーに水や液体をかけないようにしてください。
- グラインダーはウォータージェットで清掃しないでください。
- この他にも、水や液体がグラインダー筐体の内部に入らないよう注意してください。

### 参考

#### 破損の恐れがあります!

取り扱いを誤ると、グラインダーを破損させる恐れがあります。

- 強力な洗浄剤や、ナイフや金属たわしといった鋭利な刃物や金属製清掃用具を使用しないでください。このような用具等を使用すると、グラインダー表面に傷をつける可能性があります。
- 圧力を使ってグラインダーを洗わないでください  
(例:エアブロー)。
- ドリップトレイ、豆ホッパーのふたは、食器洗浄機にかけないでください。これらの部品は食器洗浄機に適しておらず、色落ちする可能性があります。
- グラインダーは、豆ホッパー部分を持って持ち上げず、必ず両手で筐体を持って持ち上げてください。



## グラインダー底面を清掃する

1. グラインダーの電源を切り(電源スイッチ **(5)** を「0」の位置に切り替え)、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 筐体を両手で持ってグラインダーを持ち上げ、清潔な面に置きます。
3. 湿ったタオルでグラインダーの底面と背面を清掃し、表面を乾かしてください。  
表面は乾燥後、油分が残ってはいけません。
4. グラインダーを清掃した底面に水平に立てて置いてください。

## 筐体を清掃する

1. グラインダーの電源を切り(電源スイッチ **(5)** を「0」の位置に切り替え)、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 以下のグラインダーの部品をブラシで清掃してください：
  - ・ 挽き口 **(13)**
  - ・ フィルターホルダー受け **(12)**
  - ・ スタートボタン **(11)**
  - ・ フィルターホルダーサポート **(10)**
  - ・ フィルターホルダーサポート用調整ねじ **(8)** (左右)
3. ドリフトレー **(9)** をグラインダーから前方に引き抜いてください。  
筐体とドリフトレーを必要に応じて、最低でも週に一度は湿ったタオルで拭き掃除してください。

## 挽き口装置を清掃する



メーカーは、挽き口装置の清掃のためにナイロンブラシの使用を薦めています。

1. 挽き口 **(13)** を取付部から下側に引っ張りだしてください (**図I**を参照)。
2. ブラシを使って、筐体の排出口(挽き口取付部)を清掃してください。
3. 湿ったタオルで挽き口を清掃し、その後乾かしてください。



挽き口の表面を損傷しないよう注意してください。  
細かいこすり傷があると、エスプレッソ豆の粉が傷にくっついて、分量の変動を引き起こし、グラインダーの結果に悪い影響がでることがあります。

## 豆ホッパーを清掃する



豆ホッパーはコーヒーの残油分を毎日取り除いてください。コーヒーの油分が滞留すると風味に悪影響を与えます。メーカーは豆ホッパー洗浄剤の使用を推奨しています。洗浄剤に関する詳細は、[www.dittingswiss.ch](http://www.dittingswiss.ch) をご覧ください。

1. 豆ホッパー **(1)** を閉じて、スライド式つまみ **(20)** をスライドします。
2. グラインダーが空になるまで、残っているエスプレッソ豆をグラインダーで挽いてください。
3. マイナスドライバーを使用して豆ホッパー用固定ネジ **(19)** を外します。
4. 豆ホッパーを反時計回りに回転させ、グラインダーとの取付部を緩め、上に引き上げて取り外します。
5. 場合によっては、一時的にエスプレッソ豆を別の容器に移してください。
6. 湿ったタオルで豆ホッパーの内側と外側を清掃し、乾かしてください。
7. 場合によっては、余剰の豆を豆ホッパー受け **(2)** から取り除いてください。
8. ゴムリング **(18)** が豆ホッパー受けに正しく取り付けられ、平らに設置されているかを確認してください (**図B**を参照)。
9. 豆ホッパーを豆ホッパー受けに配置します。  
豆ホッパーを配置する際には、豆ホッパー前部を豆ホッパー受けの所定のくぼみにしっかりと設置するように注意してください。
10. 豆ホッパーを豆ホッパー受けに軽く押して、時計回りに回転させ、グラインダーに固定します。  
豆ホッパーを回転させても固定しない時は、豆ホッパーが正しく据えられていないことが考えられます。このケースでは、豆ホッパーを正しく合わせて (手順9を参照)、その後改めて回転させて固定してください (「不具合の是正」の章を参照)。
11. マイナスドライバーを使用して豆ホッパー用固定ネジを時計回りに回してしっかり締め付けます。
12. エスプレッソ豆を豆ホッパーに再び投入してください。
13. スライド式つまみを引き出して豆ホッパーを開けます。

## グラインダーを清掃する



- メーカーはグラインダー清掃にグラインダー洗浄剤 GRINDZ™ の使用を推奨しています。GRINDZ™ に関する詳細は、[www.dittingswiss.ch](http://www.dittingswiss.ch) をご覧ください。
- グラインダーの清掃は、2～5日毎に行います。

- 豆ホッパー **(1)** を閉じて、スライド式つまみ **(20)** をスライドします。
- 挽き具合を「8」に設定してください（「挽き具合を調整する」の章を参照）。
- グラインダーが空になるまで、残っているエスプレッソ豆をグラインダーで挽いてください。
- マイナスドライバーを使用して豆ホッパー用固定ネジ **(19)** を外します。
- 豆ホッパーを反時計回りに回転させ、グラインダーとの取付部を緩め、上に引き上げて取り外します。
- グラインダー洗浄剤を上から直接グラインダーに詰めてください。グラインダー洗浄剤を使用する際には、メーカーの指定する洗剤量に注意してください。
- 場合によっては、余剰のグラインダー洗浄剤を豆ホッパー受け **(2)** から取り除いてください。
- ゴムリング **(18)** が豆ホッパー受けに正しく取り付けられ、平らに設置されているかを確認してください（**図B**を参照）。
- 豆ホッパーを豆ホッパー受けに再度配置します。  
豆ホッパーを配置する際には、豆ホッパー前部を豆ホッパー受けの所定のくぼみにしっかりと設置するように注意してください。
- 豆ホッパーを豆ホッパー受けに軽く押して、時計回りに回転させ、グラインダーに固定します。  
豆ホッパーを回転させても固定しない時は、豆ホッパーが正しく据えられていないことが考えられます。このケースでは、豆ホッパーを正しく合わせて（手順9を参照）、その後改めて回転させて固定してください（「不具合の是正」の章を参照）。
- マイナスドライバーを使用して豆ホッパー用固定ネジを時計回りに回してしっかり締め付けます。
- グラインダー洗浄剤をこぼさないよう、挽き口 **(13)** の下にボウルを置いてください。

13. 豆挽き工程をスタートするために、スタートボタン **(11)** を押してください。その後、グラインダー洗浄剤が完全に挽かれるまで、スタートボタンを押したままにしてください。
14. 残っている洗浄剤小片を取り除くため、先のグラインダー洗浄剤と同じ分量だけエスプレッソ豆を挽いてください。  
豆挽き工程中に、豆挽き具合を希望する設定に合わせてください。
15. 挽いたグラインダー洗浄剤とエスプレッソ豆は事業系一般廃棄物/家庭ごみで廃棄してください。

## 不具合の是正

不具合	原因	解決方法
グラインダーが豆を挽かず、ディスプレイが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源プラグがコンセントに差し込まれていない。</li> <li>• 豆ホッパーが取り付けられない。</li> <li>• 過電流保護用温度ヒューズが切れた。</li> <li>• 電気ヒューズが切れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 電源プラグを適切に取り付けられたコンセントに差し込んでください。</li> <li>→ 豆ホッパーを取り付けてください（「グラインダーを設置し、豆ホッパーを取り付ける」の章を参照）。</li> <li>→ ヒューズの解除ボタンが抜けているか確認してください。必要に応じて再度押してください。スイッチが繰り返し飛び出す場合は、担当取扱業者の連絡先に連絡してください（「メンテナンスとサービス」の章を参照）。</li> <li>→ 電気ヒューズを確認してください。電気ヒューズを初期状態に戻す、あるいは交換してください。このヒューズに他の負荷が接続されているか確認し、必要に応じてそのプラグを抜いてください。ヒューズが繰り返し外れる場合は、担当取扱業者の連絡先に連絡してください（「メンテナンスとサービス」の章を参照）。</li> </ul>

不具合	原因	解決方法
グラインダーが音を立てるが、豆を挽かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラインダーが詰まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ ストッパーを緩めて豆挽き具合の調整目盛りを「8」に合わせてください。豆挽き工程を作動させます。グラインダーが豆を挽けるようになります。次に、運転中に豆挽き具合設定を希望する豆挽き具合に合わせます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルターホルダー内の分量が多すぎて、グラインダー内で挽いたコーヒーが溜まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 挽き口装置を清掃してください（「挽き口装置の清掃」の章を参照）。ストッパーを緩めて豆挽き具合の調整目盛りを「8」に合わせてください。豆挽き工程を作動させます。グラインダーが豆を挽けるようになります。次に、運転中に豆挽き具合設定を希望する豆挽き具合に合わせます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>挽き具合が細かすぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ ストッパーを緩めて豆挽き具合の調整目盛りを「8」に合わせてください。豆挽き工程を作動させます。グラインダーが豆を挽けるようになります。次に、運転中に豆挽き具合設定を希望する豆挽き具合に合わせます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>異物がグラインダー内にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 「清掃」の章に記載されている通りにグラインダーを清掃し、異物を取り除いてください。異物が取り除けない場合、担当取扱業者の連絡先に連絡してください（「メンテナンスとサービス」の章を参照）。</li> </ul>

不具合	原因	解決方法
グラインダーが十分に細かく豆を挽かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラインドディスクが摩耗しているか、新たに調節しなければなりません。</li> </ul>	→ 取扱業者にご相談ください(「メンテナンスとサービス」の章を参照)。
グラインダーが豆引きを行わない。豆挽きが断続的に中断する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタートボタンに不具合があります。</li> </ul>	→ 取扱業者にご相談ください(「メンテナンスとサービス」の章を参照)。
グラインダーの抽出精度が落ちている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>挽き口が詰まっている。グラインダーの内部に、挽いたコーヒーが滞留し過ぎている。</li> </ul>	→ 挽き口を取り外すか、グラインダーの電源を切って挽き口を外側からブラシを使って清掃してください。ストッパーを緩めて豆挽き具合の調整目盛りを「8」に合わせてください。豆挽き工程を作動させます。グラインダーが豆を挽けるようになります。次に、運転中に豆挽き具合設定を希望する豆挽き具合に合わせてます。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラインダーの挽き口が破損している。</li> </ul>	→ 取扱業者にご相談ください(「メンテナンスとサービス」の章を参照)。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラッパーが壊れている。</li> </ul>	→ 取扱業者にご相談ください(「メンテナンスとサービス」の章を参照)。
豆ホッパーが設置できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>豆ホッパー受けに豆が入っています。</li> <li>ゴムリングが豆ホッパー受けに平らに設置されていません。</li> </ul>	→ 豆を豆ホッパー受けから取り除いてください。 → ゴムリングが正しく平らに豆ホッパー受けに設置されているか確認してください。

不具合	原因	解決方法
グラインダー が取り付け たフィルター ホルダーの 中央に抽出 しない。	・ 挽き口が正しく フィルター ホルダーに調 整されていない。	→ 挽き口を使用する フィルターホルダー に合わせて正しく 調整してください。

## 仕様情報

モデル:	E65S (DE 65 2.4B)
電圧/周波数:	100 V / 50 Hz 100 V / 60 Hz 110–127 V / 60 Hz 220–240 V / 50 Hz 220–240 V / 60 Hz
保護規格:	IPX0
保護等級:	I ⊕
ヒューズ:	16A 低
待機時回転数:	
50 Hz:	1 400 rpm
60 Hz:	1 650 rpm
ノイズ値(グラインド中):	80 dBA
豆挽き性能(細挽き-粗挽き):	4–10 g/s*
最大許容運転サイクル:	
100 V / 50 Hz	ダブルエスプレッソ 2回/分 (5秒抽出 / 25秒止め)
100 V / 60 Hz	ダブルエスプレッソ 2回/分 (5秒抽出 / 25秒止め)
110–127 V / 60 Hz	ダブルエスプレッソ 2回/分 (4秒抽出 / 26秒止め)
220–240 V / 50 Hz	ダブルエスプレッソ 3回/分 (5秒抽出 / 15秒止め)
220–240 V / 60 Hz	ダブルエスプレッソ 3回/分 (5秒抽出 / 15秒止め)

推奨休止時間:	15～26秒 (電圧の種類により異なる)
最大豆挽き時間:	10分連続使用
最大容量/日:	30 kg
寸法 (幅×奥行×高さ):	195×283×583 mm
重量 (正味):	11.2 kg
最大投入量:	1.2 kg

\*選んだエスプレッソ豆の種類、引き具合および周波数によって異なります。

## 廃棄

### 梱包を廃棄する



梱包はきちんと分別して廃棄してください。紙・段ボール類は古紙、フィルムはリサイクルです。

### グラインダーを廃棄する



古くなったグラインダーを事業系一般廃棄物/家庭ごみに捨ててはいけません。

グラインダーを使わなくなった場合、お住まいの地方自治体の廃品回収に出すなどの方法で**事業系一般廃棄物/家庭ごみとは分別して廃棄する法的責任を消費者として負っています**。これにより、グラインダーは専門的に廃棄またはリサイクルされ、環境に悪影響を及ぼさないようになっています。そのため、電気機器はここに記載する記号が付されています。



## メンテナンスとサービス

サービスまたはメンテナンスを必要とする場合、Ditting製品担当カスタマーサービスにご連絡ください。カスタマーサービスは製品の修理およびメンテナンスや交換部品に関する質問を受け付けています。

交換部品の爆発の危険を示す表記や情報については、こちらをご覧ください。

[www.dittingswiss.ch](http://www.dittingswiss.ch)

[www.dittingswiss.ch/retailers](http://www.dittingswiss.ch/retailers)



当社製品およびアクセサリに関するご質問につきましては、使用のアドバイスを担当する当社チームが対応いたします。

ご質問や交換部品の注文の際は、必ずグラインダーの銘板に記載されている商品およびシリアル番号をお申し出ください。

グラインダーのバージョンは、電源を入れる则表示されます。

取扱業者にサービスご相談の際、このバージョンをお伝えください。

## EC DECLARATION OF CONFORMITY

### The manufacturer:

HEMRO International AG  
Länggenstrasse 34, CH-8184 Bachenbülach, Switzerland

Hereby declares that the below mentioned product:

<b>Product:</b>	Device for food processing
<b>Machine model:</b>	Espresso coffee grinder
<b>Types of machine:</b>	E65S: ME 65 2.4B, ME 65 2.4C, DE 65 2.4B, DE 65 2.4C Pratica: AE 65 2.4B, AE 65 2.4C Solida: AE 65 V, AE 65 V Stp, AE 65 V SC, AE V Stp SC, AE 65 VT, AE 65 VT Stp, AE 65 VT SC, AE 65 VT Stp SC

Following directives, regulations and standards have been applied:

2006/42/EG	The provisions of the Machinery Directive
2014/35/EU	The Low Voltage Directive
2014/30/EU	The EU Electromagnetic Compatibility Directive (EMC)
2011/65/EU	The RoHS Directive on the restriction of use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment
(EG) No. 1907/2006	The EU chemicals regulation (REACH – Regulation)
2012/19/EU	WEEE Regulation - Waste of Electrical and Electronic Equipment
EN 60335-1:16	Safety of electrical appliances for household, general requirements
EN 60335-2-64:08	Safety of electrical appliances for household, particular requirements for commercial use
EN 62233:08	Measurement methods for electromagnetic fields
EN 55014-1:06+A1:08+A2:11	Electromagnetic compatibility, Emission (EMC)
EN 55014-2:15	Electromagnetic compatibility, Immunity (EMC)
EN 61000-3-2:14	Electromagnetic compatibility, Emission (EMC)
EN 61000-3-3:13	Electromagnetic compatibility, Emission (EMC)

### Supplements in Europe:

Regulation 1935/2004	Requirements for materials and the objects with food comes into contact
Regulation 2011/10/EU	Requirements on plastic materials and articles intended to come into contact with food
Regulation 2023/2006	Regulation on good manufacturing practice for materials and articles intended to come into contact with food

Documentation agent:

Address of the proxy documentation:

Done in Bachenbülach on:

Function of subscribers:

Signatory names:

Metin Makinaci

See the address of the manufacturer

13/7/2018

Management board

Philipp Baumberger, Gilbert Zünd

Signatures

Philipp Baumberger (MD)

Gilbert Zünd (MD)

メモ

# ditting



HEMRO INTERNATIONAL AG  
Längenstrasse 34  
CH 8184 Bachenbülach,  
Schweiz



+41 44 864 18 00



[info@hemrogroup.com](mailto:info@hemrogroup.com)